

週間漁海況情報—第43号

平成28年11月1日

内容は水産研究課ホームページでも公開しています。
更新は、原則として火曜日夜間におこないます。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

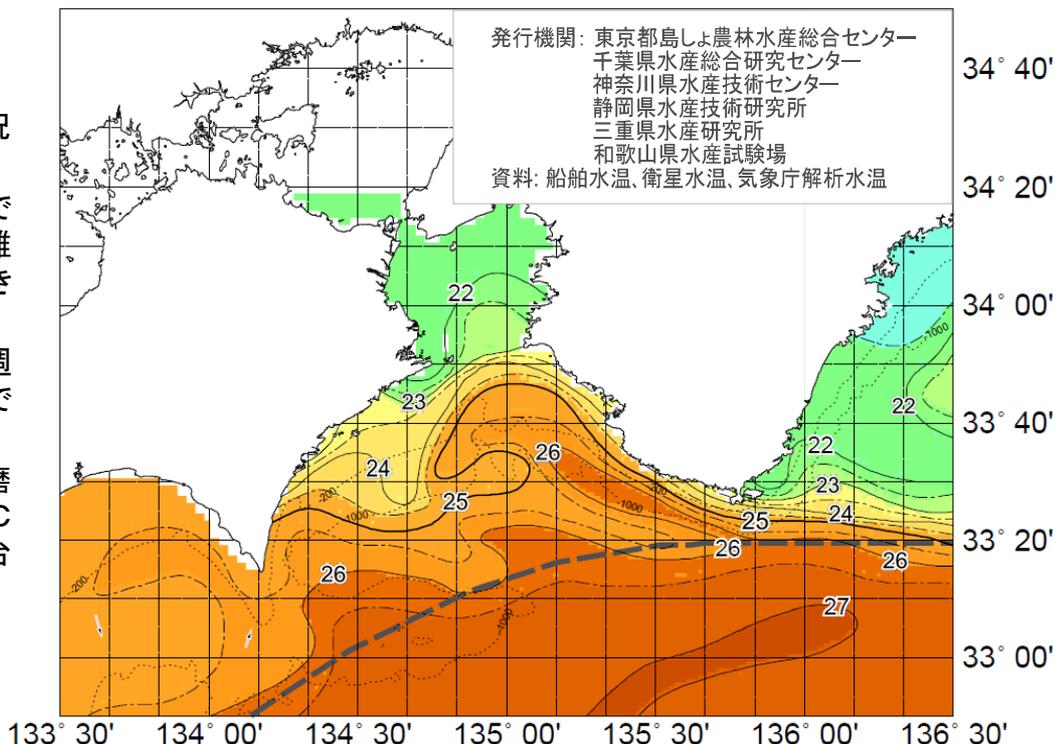
1. 周辺海域の水温

右に10月31日時点の海況図を示した。

黒潮の位置は、室戸岬沖では先週から引き続き「やや離岸」、潮岬沖では先週から引き続き「接岸」で推移している。

黒潮本流の表面水温は先週から変わらず26℃～27℃台である。

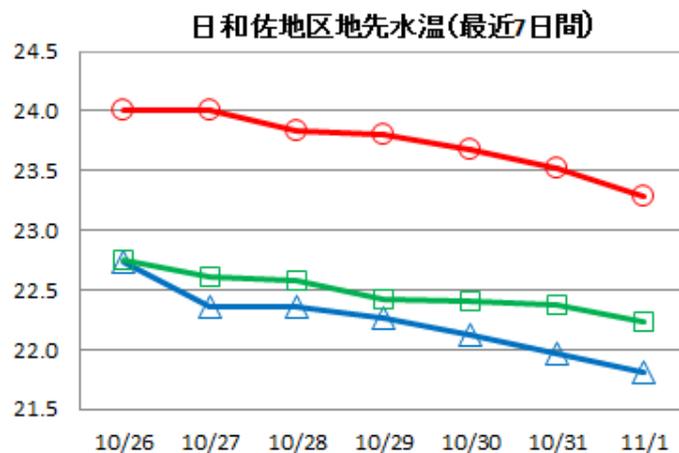
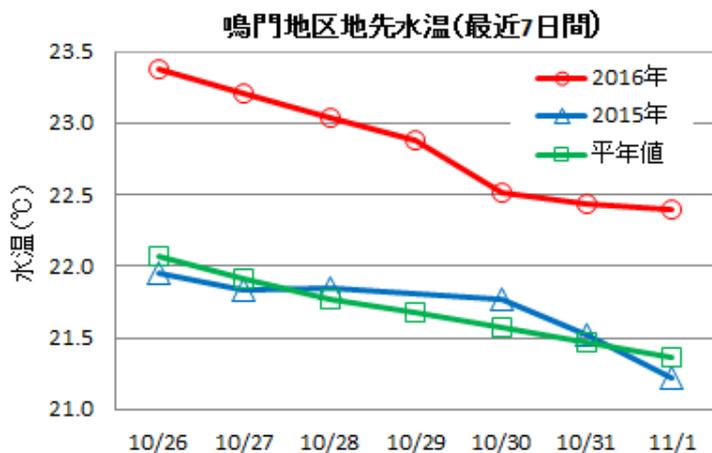
徳島沿岸の水温は、播磨灘、紀伊水道で21℃～23℃台、海部沿岸で22℃～24℃台となっている。



海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温

最近7日間の地先水温は、鳴門地区、日和佐地区とも先週に引き続き一貫して低下したが、平年と比べるといずれも「やや高め」で、鳴門地区は22.4℃～23.4℃、日和佐地区は23.3℃～24.0℃であった。



※水温の高低 平年並: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上
※平年値 鳴門地区: 1981年～2015年の平均値、日和佐地区: 1982年～2015年の平均値

3. 週間予報

11月2日から11月8日にかけて、黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地区、日和佐地区とも引き続き低下するものの平年より「やや高め」で、鳴門地区は22℃台前半、日和佐地区は22℃台後半～23℃台前半で推移する見込み。

漁況 10月24日～10月30日

1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

全体の水揚げは減った。

船びき網では、シラスが減って43.5ト水揚げされた。

延縄では、サワラが大きく減って6.2ト水揚げされた。

建網では、カワハギが増えて大主体に0.7ト水揚げされた。表にはないが、その他のかわはぎ類(ウスバハギ等)も増えて162キ水揚げされている。

小型定置網では、マアジが増えて豆アジ主体に1.0ト、マルアジも増えて0.3ト水揚げされた。このほか、表にはないがブリがつばす主体に152キ、カンパチが146キ水揚げされている。

底びき網では、クマエビ(足赤えび)が増えて1.7ト、タチウオが減って1.6ト、コウイカが大きく増えて0.6ト水揚げされた。表にはないが、かます類、モンゴウイカ、シリヤケイカなども多く水揚げされている。

2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

建網以外で水揚げが減り、全体の水揚げは減った。

釣りでは、タチウオが増えて0.6ト水揚げされた。マルアジ、ブリは大きく減って表から外れた。

延縄では、キダイが増えて0.3ト水揚げされた。サワラは大きく減って表から外れた。

小型定置網では、マルアジが増えて小小主体に0.5ト、メアジが0.4ト、かます類がアカカマス主体に0.4ト、マアジは大きく減って0.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	58	シラス	43,500	750		↘
	延縄	78	サワラ	6,230	80		↘↘
	建網	50	カワハギ	691	14	大主体	↗
	小型定置網	11	マアジ	1,002	91	小小主体	↗
		10	マルアジ	259	26		↗
	底びき網	30	クマエビ	1,672	56		↗
		25	タチウオ	1,581	63		↘
		27	コウイカ	619	23		↗↗
		26	ハモ	590	23	中主体	→
		24	イボダイ	464	19	大主体	↗
	27	ぐち類	314	12		↘	
海部沿岸	釣り	33	タチウオ	646	20		↗
	延縄	17	キダイ	324	19	大主体	↗
	小型定置網	12	マルアジ	466	39	小小主体	↗
		23	メアジ	382	17		↘
		12	かます類	376	31		↗
	20	マアジ	310	15	小小主体	↘↘	

※ 前週比 200%以上:↗↗、120%~200%:↗、80%~120%:→、50%~80%:↘、前週比50%未満:↘↘